

事故寸前回避事例報告書(ヒヤリ・ハットシート)

記入者氏名:〇〇 〇〇

記入日: 平成25年 1月22日

●ヒヤリ・ハットした時の状況と解説をご記入ください。～誰(何)が・どこで・なにをした・その他～

中学・小学生3名の農家民泊体験を受け入れ、体験作業として、家の前に有る畑で、リンゴ苗、植栽の草取りを始めた。
作業開始5分程度で、小学生の小供が蜂に刺れたと唇を抑えた。
見ると木の根元に小さな巣があり、3匹程度の蜂がいた。
幸い妻が看護婦の経験があり、氷で冷やすと同時に蜂刺れ等に効果のある薬を塗った。2時間程度で腫も引き正常にもどった。

●なぜ事故にはいたらずに済んだと思いますか？

原因究明と処置の知識があった事と適切な処置ができたことが大事に至らなかったと思う。

●このヒヤリ・ハットをなくすためにはどのような対策が考えられますか？

作業前の十分な安全確認が、必要であることを痛感した。

①発生日時等

平成24年 8月 7日 午前 10時頃 天候:晴 気温29℃

②発生現場

屋外 具体的な場所: 畑

③事例の種類

自分が負傷しそうになった 参加者が負傷しそうになった 第三者同士で負傷させそうになった

④もし、実際の負傷事故の発生に至っていたとしたら…

軽症のケガですむ 軽症だが医療機関に連れていく 全治3週間以上の重症 死亡につながる

⑤どのようなことが起きそうになったか(あてはまるもの全てチェック)

墜落・転落 転倒 激突 飛来・落下物にぶつかる 崩壊・倒壊(にまきこまれる) 溺れ

(機器等)巻き込まれ、はさまれ 切り傷・擦り傷 踏み抜き 感電 有害動物と接触

有害植物と接触 爆発・破裂 交通事故 ヤケド 凍傷 腰痛 骨折 ねんざ

退路の消失、寸断 その他:

⑥同様の事例は、これまでどの程度の頻度で発生しているか

初めて 1年に数度程度 1か月に数度程度 常にある

【原因として考えられること】(あてはまるもの全てにチェック)

・心理・体調 状況からくる焦り 注意力の欠如 経験・知識不足 心身の不調

・装備・資機材 故障・不具合 誤使用 能力不足 機材がなかった 適切でない服装

・活動環境 天候が原因 建物等による視覚不良 狭い 暑い(寒い)

・施設管理 施設の点検不足 施設内外の掃除不足 老朽化 構造上の欠陥

説明不足 備品のメンテナンス不足

・指示 指示の誤り 指示がなかった 指示内容が実施困難であった 連携が不十分

報告が不十分 人数不足 その他:

事故寸前回避事例報告書(ヒヤリ・ハットシート)

記入者氏名: △△ △△

記入日: 平成25年 1月25日

●ヒヤリ・ハットした時の状況と解説をご記入ください。～誰(何)が・どこで・なにをした・その他～

中学2年男子が昼食後気分が悪くなり、戻したりしました。午前中の農作業の中で花の球根のにおいて気分が悪いと言っていたが、あまり気にしていませんでした。又、2泊3日の体験の中で、冬の寒い中、短パンに薄着だったのもあり、悪い条件が重なったかなと思います。病院に行き「神経性胃炎」と診断されたそうです。

●なぜ事故にはいたらずに済んだと思いますか？

すぐに家の中で暖をとり、横になり休みました。

●このヒヤリ・ハットをなくすためにはどのような対策が考えられますか？

寒さ対策を十分行ない、参加者の言動に十分配慮する。
食中毒予防のため、手洗いの徹底を行なう。

①発生日時等

平成24年 11月 日 午後 2時頃 天候:晴 気温 °C

②発生現場

屋内 具体的な場所: ビニールハウス

③事例の種類

自分が負傷しそうになった 参加者が負傷しそうになった 第三者同士で負傷させそうになった

④もし、実際の負傷事故の発生に至っていたとしたら…

軽症のケガですむ 軽症だが医療機関に連れていく 全治3週間以上の重症 死亡につながる

⑤どのようなことが起きそうになったか(あてはまるもの全てにチェック)

墜落・転落 転倒 激突 飛来・落下物にぶつかる 崩壊・倒壊(にまきこまれる) 溺れ

(機器等)巻き込まれ、はさまれ 切り傷・擦り傷 踏み抜き 感電 有害動物と接触

有害植物と接触 爆発・破裂 交通事故 ヤケド 凍傷 腰痛 骨折 ねんざ

退路の消失、寸断 その他:

⑥同様の事例は、これまでどの程度の頻度で発生しているか

初めて 1年に数度程度 1か月に数度程度 常にある

【原因として考えられること】(あてはまるもの全てにチェック)

・心理・体調 状況からくる焦り 注意力の欠如 経験・知識不足 心身の不調

・装備・資機材 故障・不具合 誤使用 能力不足 機材がなかった 適切でない服装

・活動環境 天候が原因 建物等による視覚不良 狭い 暑い(寒い)

・施設管理 施設の点検不足 施設内外の掃除不足 老朽化 構造上の欠陥

説明不足 備品のメンテナンス不足

・指示 指示の誤り 指示がなかった 指示内容が実施困難であった 連携が不十分

報告が不十分 人数不足 その他:

事故寸前回避事例報告書(ヒヤリ・ハットシート)

記入者氏名: □□ □□

記入日: 平成25年 1月23日

●ヒヤリ・ハットした時の状況と解説をご記入ください。～誰(何)が・どこで・なにをした・その他～

さつま芋掘りをするのに先づ芋蔓を鎌で切り取る作業をするが、その作業が子供達にとって大変に興味深く楽しいものであった様であり、それを眺めていた順番待ちの子供が早く作業をしたくて、作業に夢中になっていた子に近づいて行った。

●なぜ事故にはいたらずに済んだと思いますか？

作業の仕方や鎌の使い方を指導し、順番を決め、すぐ近くで作業の様子を見ていたところ順番待ちの子供が作業中の子供に言い寄るのを確認したので止めた。

●このヒヤリ・ハットをなくすためにはどのような対策が考えられますか？

一人分の作業量を決めてなかった為、1番目の子供がまだやりたいと言いながら引延ばした事が原因であった。事前に作業範囲を決めておくべきだった。

①発生日時等

平成25年11月17日 午後 時頃 天候:晴 気温20℃

②発生現場

屋外 具体的な場所: 菜園

③事例の種類

自分が負傷しそうになった 参加者が負傷しそうになった 第三者同士で負傷させそうになった

④もし、実際の負傷事故の発生に至っていたとしたら…

軽症のケガですむ 軽症だが医療機関に連れていく 全治3週間以上の重症 死亡につながる

⑤どのようなことが起きそうになったか(あてはまるもの全てにチェック)

墜落・転落 転倒 激突 飛来・落下物にぶつかる 崩壊・倒壊(にまきこまれる) 溺れ

(機器等)巻き込まれ、はさまれ 切り傷・擦り傷 踏み抜き 感電 有害動物と接触

有害植物と接触 爆発・破裂 交通事故 ヤケド 凍傷 腰痛 骨折 ねんざ

退路の消失、寸断 その他:

⑥同様の事例は、これまでどの程度の頻度で発生しているか

初めて 1年に数度程度 1か月に数度程度 常にある

【原因として考えられること】(あてはまるもの全てにチェック)

・心理・体調 状況からくる焦り 注意力の欠如 経験・知識不足 心身の不調

・装備・資機材 故障・不具合 誤使用 能力不足 機材がなかった 適切でない服装

・活動環境 天候が原因 建物等による視覚不良 狭い 暑い(寒い)

・施設管理 施設の点検不足 施設内外の掃除不足 老朽化 構造上の欠陥

説明不足 備品のメンテナンス不足

・指示 指示の誤り 指示がなかった 指示内容が実施困難であった 連携が不十分

報告が不十分 人数不足 その他:

事故寸前回避事例報告書(ヒヤリ・ハットシート)

記入者氏名: ○○ ○○

記入日: 2013年 1月 6日

●ヒヤリ・ハットした時の状況と解説をご記入ください。～誰(何)が・どこで・なにをした・その他～

誰が → 野外活動中の参加者(小学生)
どこで → 活動エリアから少しはずれた区域の斜面(草地)で
何を → 斜面で転倒し、斜面を滑り落ちた
その他 → 昼食後、指導者が片付け等で目が行き届かなかった合間だった

●なぜ事故にはいたらずに済んだと思いますか？

斜面が緩かった
斜面に石などの、怪我の原因となる物がなかった

●このヒヤリ・ハットをなくすためにはどのような対策が考えられますか？

参加者への活動エリアの周知
指導者を、後片付け組と子どもの観察組と役割分担を明確にしておく

①発生日時等

平成24年 8月 1日 (午前・午後) 2時頃 天候:晴 気温30℃

②発生現場

屋外 具体的な場所: 山小屋付近のなだらかな斜面(草地)

③事例の種類

自分が負傷しそうになった 参加者が負傷しそうになった 第三者同士で負傷させそうになった

④もし、実際の負傷事故の発生に至っていたとしたら…

軽症のケガですむ 軽症だが医療機関に連れていく 全治3週間以上の重症 死亡につながる

⑤どのようなことが起きそうになったか(あてはまるもの全てにチェック)

墜落・転落 転倒 激突 飛来・落下物にぶつかる 崩壊・倒壊(にまきこまれる) 溺れ
 (機器等)巻き込まれ、はさまれ 切り傷・擦り傷 踏み抜き 感電 有害動物と接触
有害植物と接触 爆発・破裂 交通事故 ヤケド 凍傷 腰痛 骨折 ねんざ
退路の消失、寸断 その他: 頭部損傷など

⑥同様の事例は、これまでどの程度の頻度で発生しているか

初めて 1年に数度程度 1か月に数度程度 常にある

【原因として考えられること】(あてはまるもの全てにチェック)

・心理・体調 状況からくる焦り 注意力の欠如 経験・知識不足 心身の不調
・装備・資機材 故障・不具合 誤使用 能力不足 機材がなかった 適切でない服装
・活動環境 天候が原因 建物等による視覚不良 狭い 暑い(寒い)
・施設管理 施設の点検不足 施設内外の掃除不足 老朽化 構造上の欠陥
説明不足 備品のメンテナンス不足
・指示 指示の誤り 指示がなかった 指示内容が実施困難であった 連携が不十分
報告が不十分 人数不足 その他:

事故寸前回避事例報告書(ヒヤリ・ハットシート)

記入者氏名: △△ △△

記入日: 2013年 1月11日

●ヒヤリ・ハットした時の状況と解説をご記入ください。～誰(何)が・どこで・なにをした・その他～

スキーショー会場の駐車場で、自分が、車から降りる際に、アイスバーンの上に足をついたところ、すべってしまい、尻もちをついた。
打ち身等はなく、痛みも残らなかった。

●なぜ事故にはいたらずに済んだと思いますか？

降りるとき気をつけてゆっくり足をついたため、大きな衝撃にならなかったと考えられる。

●このヒヤリ・ハットをなくすためにはどのような対策が考えられますか？

停車場所はなるべく、アスファルト上などを選び(悪くても雪上)、凍ったアイスバーン等はさける。
降りる際に、すべりやすいので気をつけるよう注意を促す。

①発生日時等

平成25年 1月10日 午後 15時頃 天候:晴 気温 0℃

②発生現場

屋外 具体的な場所: 駐車場

③事例の種類

自分が負傷しそうになった 参加者が負傷しそうになった 第三者同士で負傷させそうになった

④もし、実際の負傷事故の発生に至っていたとしたら…

軽症のケガですむ 軽症だが医療機関に連れていく 全治3週間以上の重症 死亡につながる

⑤どのようなことが起きそうになったか(あてはまるもの全てにチェック)

墜落・転落 転倒 激突 飛来・落下物にぶつかる 崩壊・倒壊(にまきこまれる) 溺れ

(機器等)巻き込まれ、はさまれ 切り傷・擦り傷 踏み抜き 感電 有害動物と接触

有害植物と接触 爆発・破裂 交通事故 ヤケド 凍傷 腰痛 骨折 ねんざ

退路の消失、寸断 その他:

⑥同様の事例は、これまでどの程度の頻度で発生しているか

初めて 1年に数度程度 1か月に数度程度 常にある

【原因として考えられること】(あてはまるもの全てにチェック)

・心理・体調 状況からくる焦り 注意力の欠如 経験・知識不足 心身の不調

・装備・資機材 故障・不具合 誤使用 能力不足 機材がなかった 適切でない服装

・活動環境 天候が原因 建物等による視覚不良 狭い 暑い(寒い)

・施設管理 施設の点検不足 施設内外の掃除不足 老朽化 構造上の欠陥

説明不足 備品のメンテナンス不足

・指示 指示の誤り 指示がなかった 指示内容が実施困難であった 連携が不十分

報告が不十分 人数不足 その他:

事故寸前回避事例報告書(ヒヤリ・ハットシート)

記入者氏名: □□ □□

記入日: 平成25年 1月11日

●ヒヤリ・ハットした時の状況と解説をご記入ください。～誰(何)が・どこで・なにをした・その他～

小学生を対象に川遊び体験をしていたとき、最初は川原で石を投げて遊んでいたが、そのうちにどンドン川に入っていく、足をすべらせないかヒヤリとした。

●なぜ事故にはいたらずに済んだと思いますか？

周囲にいた受入者が、声がけをし深い所へは行かないよう注意をし、見守っていたため。

●このヒヤリ・ハットをなくすためにはどのような対策が考えられますか？

体験を始める前に危険箇所等の説明を行い、体験中も十分監視が行き届く体制を確保する。

①発生日時等

平成23年 7月 日 午後 時頃 天候:晴 気温30℃

②発生現場

屋外 具体的な場所: 河川

③事例の種類

自分が負傷しそうになった 参加者が負傷しそうになった 第三者同士で負傷させそうになった

④もし、実際の負傷事故の発生に至っていたとしたら…

軽症のケガですむ 軽症だが医療機関に連れていく 全治3週間以上の重症 死亡につながる

⑤どのようなことが起きそうになったか(あてはまるもの全てにチェック)

墜落・転落 転倒 激突 飛来・落下物にぶつかる 崩壊・倒壊(にまきこまれる) 溺れ

(機器等)巻き込まれ、はさまれ 切り傷・擦り傷 踏み抜き 感電 有害動物と接触

有害植物と接触 爆発・破裂 交通事故 ヤケド 凍傷 腰痛 骨折 ねんざ

退路の消失、寸断 その他:

⑥同様の事例は、これまでどの程度の頻度で発生しているか

初めて 1年に数度程度 1か月に数度程度 常にある

【原因として考えられること】(あてはまるもの全てにチェック)

・心理・体調 状況からくる焦り 注意力の欠如 経験・知識不足 心身の不調

・装備・資機材 故障・不具合 誤使用 能力不足 機材がなかった 適切でない服装

・活動環境 天候が原因 建物等による視覚不良 狭い 暑い(寒い)

・施設管理 施設の点検不足 施設内外の掃除不足 老朽化 構造上の欠陥

説明不足 備品のメンテナンス不足

・指示 指示の誤り 指示がなかった 指示内容が実施困難であった 連携が不十分

報告が不十分 人数不足 その他:

事故寸前回避事例報告書(ヒヤリ・ハットシート)

記入者氏名:

記入日: 平成 年 月 日

●ヒヤリ・ハットした時の状況と解説をご記入ください。～誰(何)が・どこで・なにをした・その他～

- ・小4男子 参加者
- ・2泊3日の企画 2日目早朝 4時
- ・腹痛・吐き気
- ・前日、鶏さばきのPG実施。食中毒を疑う。

●なぜ事故にはいたらずに済んだと思いますか？

原因:環境変化によるストレス・食べすぎ。
鶏肉はきちんと処理をして、火を通して食べていた。

●このヒヤリ・ハットをなくすためにはどのような対策が考えられますか？

- ・肉解体時の てきせつな処理
- ・食事の食べすぎに注意(特に子どもは。)

①発生日時等

平成24年11月24日 午前 4時頃 天候:曇り 気温 °C

②発生現場

屋内 具体的な場所:

③事例の種類

自分が負傷しそうになった 参加者が負傷しそうになった 第三者同士で負傷させそうになった

④もし、実際の負傷事故の発生に至っていたとしたら…

軽症のケガですむ 軽症だが医療機関に連れていく 全治3週間以上の重症 死亡につながる

⑤どのようなことが起きそうになったか(あてはまるもの全てチェック)

- 墜落・転落 転倒 激突 飛来・落下物にぶつかる 崩壊・倒壊(にまきこまれる) 溺れ
- (機器等)巻き込まれ、はさまれ 切り傷・擦り傷 踏み抜き 感電 有害動物と接触
- 有害植物と接触 爆発・破裂 交通事故 ヤケド 凍傷 腰痛 骨折 ねんざ
- 退路の消失、寸断 その他:

⑥同様の事例は、これまでどの程度の頻度で発生しているか

初めて 1年に数度程度 1か月に数度程度 常にある

【原因として考えられること】(あてはまるもの全てにチェック)

- ・心理・体調 状況からくる焦り 注意力の欠如 経験・知識不足 心身の不調
- ・装備・資機材 故障・不具合 誤使用 能力不足 機材がなかった 適切でない服装
- ・活動環境 天候が原因 建物等による視覚不良 狭い 暑い(寒い)
- ・施設管理 施設の点検不足 施設内外の掃除不足 老朽化 構造上の欠陥
- 説明不足 備品のメンテナンス不足
- ・指示 指示の誤り 指示がなかった 指示内容が実施困難であった 連携が不十分
- 報告が不十分 人数不足 その他:

事故寸前回避事例報告書(ヒヤリ・ハットシート)

記入者氏名: ○○ ○○

記入日: 2013年 1月 8日

●ヒヤリ・ハットした時の状況と解説をご記入ください。～誰(何)が・どこで・なにをした・その他～

スキーの指導中、担当する小学生グループの最後方を滑っており、途中で電話がかかってきたので停止して通話した。通話終了後、あらかじめ決めてあった目標まで滑り下りたが、その地点に小学生が一人足りない。その子は、別の地点へ下りてしまって、自らスキー場スタッフに助けを求めたため、宿泊の宿を通じて連絡がつき、確保することができた。

●なぜ事故にはいたらずに済んだと思いますか？

迷子になった本人が、スキー場スタッフに助けを求め、自分が宿泊している宿などを告げることができたから。

●このヒヤリ・ハットをなくすためにはどのような対策が考えられますか？

先頭をすべるスタッフが、適宜後ろをチェックする。無線の活用。
迷子時の集合場所の約束をする。迷子札の携帯。

①発生日時等

平成25年 1月 4日 午後 16時頃 天候:雪 気温 0℃

②発生現場

屋外 具体的な場所: ○○スキー場

③事例の種類

自分が負傷しそうになった 参加者が負傷しそうになった 第三者同士で負傷させそうになった

④もし、実際の負傷事故の発生に至っていたとしたら…

軽症のケガですむ 軽症だが医療機関に連れていく 全治3週間以上の重症 死亡につながる

⑤どのようなことが起きそうになったか(あてはまるもの全てにチェック)

墜落・転落 転倒 激突 飛来・落下物にぶつかる 崩壊・倒壊(にまきこまれる) 溺れ

(機器等)巻き込まれ、はさまれ 切り傷・擦り傷 踏み抜き 感電 有害動物と接触

有害植物と接触 爆発・破裂 交通事故 ヤケド 凍傷 腰痛 骨折 ねんざ

退路の消失、寸断 その他: 行方不明

⑥同様の事例は、これまでどの程度の頻度で発生しているか

初めて 1年に数度程度 1か月に数度程度 常にある

【原因として考えられること】(あてはまるもの全てにチェック)

・心理・体調 状況からくる焦り 注意力の欠如 経験・知識不足 心身の不調

・装備・資機材 故障・不具合 誤使用 能力不足 機材がなかった 適切でない服装

・活動環境 天候が原因 建物等による視覚不良 狭い 暑い(寒い)

・施設管理 施設の点検不足 施設内外の掃除不足 老朽化 構造上の欠陥

説明不足 備品のメンテナンス不足

・指示 指示の誤り 指示がなかった 指示内容が実施困難であった 連携が不十分

報告が不十分 人数不足 その他:

事故寸前回避事例報告書(ヒヤリ・ハットシート)

記入者氏名: △△ △△

記入日: 2013年 1月 8日

●ヒヤリ・ハットした時の状況と解説をご記入ください。～誰(何)が・どこで・なにをした・その他～

- ① 小学生が木登りをしていて、落ちそうになった。
- ② 小学生がバーベキューをしていて、やけどをしそうになった。

●なぜ事故にはいたらずに済んだと思いますか？

- ① その場で注意を喚起したから。
- ② //

●このヒヤリ・ハットをなくすためにはどのような対策が考えられますか？

- ① 事前に指導する。監視を徹底する。
- ② バーベキューコンロを安全なものにする。

①発生日時等

平成 年 8月 日 (午前・午後) 時頃 天候:晴 気温 °C

②発生現場

屋外 具体的な場所: キャンプ場

③事例の種類

自分が負傷しそうになった 参加者が負傷しそうになった 第三者同士で負傷させそうになった

④もし、実際の負傷事故の発生に至っていたとしたら…

軽症のケガですむ 軽症だが医療機関に連れていく 全治3週間以上の重症 死亡につながる

⑤どのようなことが起きそうになったか(あてはまるもの全てにチェック)

- 墜落・転落 転倒 激突 飛来・落下物にぶつかる 崩壊・倒壊(にまきこまれる) 溺れ
 (機器等)巻き込まれ、はさまれ 切り傷・擦り傷 踏み抜き 感電 有害動物と接触
有害植物と接触 爆発・破裂 交通事故 ヤケド 凍傷 腰痛 骨折 ねんざ
退路の消失、寸断 その他:

⑥同様の事例は、これまでどの程度の頻度で発生しているか

初めて 1年に数度程度 1か月に数度程度 常にある

【原因として考えられること】(あてはまるもの全てにチェック)

- ・心理・体調 状況からくる焦り 注意力の欠如 経験・知識不足 心身の不調
- ・装備・資機材 故障・不具合 誤使用 能力不足 機材がなかった 適切でない服装
- ・活動環境 天候が原因 建物等による視覚不良 狭い 暑い(寒い)
- ・施設管理 施設の点検不足 施設内外の掃除不足 老朽化 構造上の欠陥
説明不足 備品のメンテナンス不足
- ・指示 指示の誤り 指示がなかった 指示内容が実施困難であった 連携が不十分
報告が不十分 人数不足 その他:

事故寸前回避事例報告書(ヒヤリ・ハットシート)

記入者氏名:

記入日:

年 月 日

●ヒヤリ・ハットした時の状況と解説をご記入ください。～誰(何)が・どこで・なにをした・その他～

10分以内での天候の急変が起こった。竜巻に近い強い風速の風、雷、大雨
→その後の気象台発表で「ガストフロント」発生

予兆…雨の予報だったが、天気は青空。海水浴を実施してる途中に起こった。発生する10分ほど前より、海水が冷たく感じるようになり、風が吹き始めたので全員海から上がるように指示。5分もしないうちに強風と雨が降りだす。直後にテントが飛ばされるほどの強風で、全員、近くの民家に退避。ケガなく全員非難する事ができた。

●なぜ事故にはいたらずに済んだと思いますか？

冷たいと感じてから瞬時に判断し、全員海から上がらせ、点呼を行った。引率教諭の落ち着いた対応、子ども達の真剣に動いてくれたこと、周りの大人達の避難の連携、避難民家(民泊家庭)の協力があり、すみやかに避難が完了できた。

●このヒヤリ・ハットをなくすためにはどのような対策が考えられますか？

天気予報のこまめのチェック(雨雲レーダー)、緊急時の避難所の確保、受入れ家庭との情報共有

①発生日時等

平成24年 8月 6日 午前 10時頃 天候:晴れ→雨 気温28℃→17℃(10分の間)

②発生現場

屋外 具体的な場所: △△地区〇〇岬

③事例の種類

自分が負傷しそうになった 参加者が負傷しそうになった 第三者同士で負傷させそうになった

④もし、実際の負傷事故の発生に至っていたとしたら…

軽症のケガですむ 軽症だが医療機関に連れていく 全治3週間以上の重症 死亡につながる

⑤どのようなことが起きそうになったか(あてはまるもの全てチェック)

墜落・転落 転倒 激突 飛来・落下物にぶつかる 崩壊・倒壊(にまきこまれる) 溺れ

(機器等)巻き込まれ、はさまれ 切り傷・擦り傷 踏み抜き 感電 有害動物と接触

有害植物と接触 爆発・破裂 交通事故 ヤケド 凍傷 腰痛 骨折 ねんざ

退路の消失、寸断 その他:

⑥同様の事例は、これまでどの程度の頻度で発生しているか

初めて 1年に数度程度 1か月に数度程度 常にある

【原因として考えられること】(あてはまるもの全てにチェック)

・心理・体調 状況からくる焦り 注意力の欠如 経験・知識不足 心身の不調

・装備・資機材 故障・不具合 誤使用 能力不足 機材がなかった 適切でない服装

・活動環境 天候が原因 建物等による視覚不良 狭い 暑い(寒い)

・施設管理 施設の点検不足 施設内外の掃除不足 老朽化 構造上の欠陥

説明不足 備品のメンテナンス不足

・指示 指示の誤り 指示がなかった 指示内容が実施困難であった 連携が不十分

報告が不十分 人数不足 その他:

事故寸前回避事例報告書(ヒヤリ・ハットシート)

記入者氏名:

記入日: 年 月 日

●ヒヤリ・ハットした時の状況と解説をご記入ください。～誰(何)が・どこで・なにをした・その他～

これまで発症したことのなかったアレルギーが発症してしまった例。

民泊先にて、猫と子ども達が遊んだ後、夕食づくりのお手伝いに入ったところ、目がかゆいということで、受入れ家族から先生へ電話が入る。
スタッフと先生で急行し、目のまわりが赤く腫れていたため、高千診療所へ向かうことに、その間、初期処置としてよく目を洗わせて、氷でくるんだタオルで冷やしながら車で移動。
島内児童であったため、着替えを持ってきてもらう+報告と判断をあおぐため、保護者へ連絡。診療所で合流。医師の診察を受け、目薬を処方され、再び体験に参加することができた。
(民泊体験を継続するかは本人が継続を希望。様子を見ながら継続→翌日の昼のお別れまで参加できた。)

●なぜ事故にはいたらずに済んだと思いますか？

●このヒヤリ・ハットをなくすためにはどのような対策が考えられますか？

この児童は、他にアレルギー症状はあったものの、これまで猫アレルギーは発症したことがなかった。しかし、環境が変わったり、猫を触った手で目をこすったり?したのかもしれない。何かがかきかけになってアレルギー反応を起こした可能性がある。健康状態について事前に把握をし、こまめにチェックしたり、子ども達の調子をきくことが必要。早めに気づき、診療所で医師の診察をうけることができた。受入れ家庭や引率教諭、まわりの大人が気をくばりながら体験を継続した。

①発生日時等

平成年月日 (午前・午後)時頃 天候:(晴・曇り・雨・雪) 気温℃

②発生現場

屋内・屋外 具体的な場所:

③事例の種類

自分が負傷しそうになった 参加者が負傷しそうになった 第三者同士で負傷させそうになった

④もし、実際の負傷事故の発生に至っていたとしたら...

軽症のケガですむ 軽症だが医療機関に連れていく 全治3週間以上の重症 死亡につながる

⑤どのようなことが起きそうになったか(あてはまるもの全てにチェック)

墜落・転落 転倒 激突 飛来・落下物にぶつかる 崩壊・倒壊(にまきこまれる) 溺れ
 (機器等)巻き込まれ、はさまれ 切り傷・擦り傷 踏み抜き 感電 有害動物と接触
有害植物と接触 爆発・破裂 交通事故 ヤケド 凍傷 腰痛 骨折 ねんざ
退路の消失、寸断 その他:

⑥同様の事例は、これまでどの程度の頻度で発生しているか

初めて 1年に数度程度 1か月に数度程度 常にある

【原因として考えられること】(あてはまるもの全てにチェック)

・心理・体調 状況からくる焦り 注意力の欠如 経験・知識不足 心身の不調
・装備・資機材 故障・不具合 誤使用 能力不足 機材がなかった 適切でない服装
・活動環境 天候が原因 建物等による視覚不良 狭い 暑い(寒い)
・施設管理 施設の点検不足 施設内外の掃除不足 老朽化 構造上の欠陥
説明不足 備品のメンテナンス不足
・指示 指示の誤り 指示がなかった 指示内容が実施困難であった 連携が不十分
報告が不十分 人数不足 その他:

事故寸前回避事例報告書(ヒヤリ・ハットシート)

記入者氏名: ○○ ○○

記入日: H24年12月15日

●ヒヤリ・ハットした時の状況と解説をご記入ください。～誰(何)が・どこで・なにをした・その他～

民宿で共同調理の際、包丁を持った生徒が振り返り、民宿の子どもさんが、ちょうど通りかかった。顔近くをかすめ、ヒヤッとした。

●なぜ事故にはいたらずに済んだと思いますか？

偶然

●このヒヤリ・ハットをなくすためにはどのような対策が考えられますか？

包丁の扱い方を徹底する。
指導者がそばにつく。

①発生日時等

平成22年 5月 日 午後 5時頃 天候:(晴・曇り・雨・雪) 気温 °C

②発生現場

屋内 具体的な場所:

③事例の種類

自分が負傷しそうになった 参加者が負傷しそうになった 第三者同士で負傷させそうになった

④もし、実際の負傷事故の発生に至っていたとしたら…

軽症のケガですむ 軽症だが医療機関に連れていく 全治3週間以上の重症 死亡につながる

⑤どのようなことが起きそうになったか(あてはまるもの全てにチェック)

墜落・転落 転倒 激突 飛来・落下物にぶつかる 崩壊・倒壊(にまきこまれる) 溺れ

(機器等)巻き込まれ、はさまれ 切り傷・擦り傷 踏み抜き 感電 有害動物と接触

有害植物と接触 爆発・破裂 交通事故 ヤケド 凍傷 腰痛 骨折 ねんざ

退路の消失、寸断 その他:

⑥同様の事例は、これまでどの程度の頻度で発生しているか

初めて 1年に数度程度 1か月に数度程度 常にある

【原因として考えられること】(あてはまるもの全てにチェック)

・心理・体調 状況からくる焦り 注意力の欠如 経験・知識不足 心身の不調

・装備・資機材 故障・不具合 誤使用 能力不足 機材がなかった 適切でない服装

・活動環境 天候が原因 建物等による視覚不良 狭い 暑い(寒い)

・施設管理 施設の点検不足 施設内外の掃除不足 老朽化 構造上の欠陥

説明不足 備品のメンテナンス不足

・指示 指示の誤り 指示がなかった 指示内容が実施困難であった 連携が不十分

報告が不十分 人数不足 その他:

事故寸前回避事例報告書(ヒヤリ・ハットシート)

記入者氏名:

記入日: 年 月 日

●ヒヤリ・ハットした時の状況と解説をご記入ください。～誰(何)が・どこで・なにをした・その他～

・竹細工イベントで、スタッフが補助しながら参加者(小学生)がノコギリで竹を切っていた際、勢い余って、竹を支えている側の指を少し切った。

●なぜ事故にはいたらずに済んだと思いますか？

・補助のスタッフが子供の手を覆うように、手を添えていたため。

●このヒヤリ・ハットをなくすためにはどのような対策が考えられますか？

・子供は一つの作業に熱中してしまうので、スタッフが常に声を掛けながら、ノコギリの正しい使い方を指導する。
・スタッフが対応できるだけの参加人数に抑える。
・作業に熟練したスタッフが補助をする。
・事前に任命したスタッフ以外は作業しない。
・滑り止めつきの軍手を着用させる。

①発生日時等

平成 年 月 日 (午前・午後) 時頃 天候:(晴・曇り・雨・雪) 気温 °C

②発生現場

屋内・屋外 具体的な場所:

③事例の種類

自分が負傷しそうになった 参加者が負傷しそうになった 第三者同士で負傷させそうになった

④もし、実際の負傷事故の発生に至っていたとしたら…

軽症のケガですむ 軽症だが医療機関に連れていく 全治3週間以上の重症 死亡につながる

⑤どのようなことが起きそうになったか(あてはまるもの全てチェック)

墜落・転落 転倒 激突 飛来・落下物にぶつかる 崩壊・倒壊(にまきこまれる) 溺れ
 (機器等)巻き込まれ、はさまれ 切り傷・擦り傷 踏み抜き 感電 有害動物と接触
有害植物と接触 爆発・破裂 交通事故 ヤケド 凍傷 腰痛 骨折 ねんざ
退路の消失、寸断 その他:

⑥同様の事例は、これまでどの程度の頻度で発生しているか

初めて 1年に数度程度 1か月に数度程度 常にある

【原因として考えられること】(あてはまるもの全てにチェック)

・心理・体調 状況からくる焦り 注意力の欠如 経験・知識不足 心身の不調
・装備・資機材 故障・不具合 誤使用 能力不足 機材がなかった 適切でない服装
・活動環境 天候が原因 建物等による視覚不良 狭い 暑い(寒い)
・施設管理 施設の点検不足 施設内外の掃除不足 老朽化 構造上の欠陥
説明不足 備品のメンテナンス不足
・指示 指示の誤り 指示がなかった 指示内容が実施困難であった 連携が不十分
報告が不十分 人数不足 その他:

事故寸前回避事例報告書(ヒヤリ・ハットシート)

記入者氏名: ○○ ○○

記入日: 2012年12月15日

●ヒヤリ・ハットした時の状況と解説をご記入ください。～誰(何)が・どこで・なにをした・その他～

イベントにて、ホットボンドを参加者に利用させていた際、ホットボンドの高熱になっている先端が利用者に当たった。利用者は熱さですぐに手を離したため、大事には至らなかった。

●なぜ事故にはいたらずに済んだと思いますか？

利用者(子ども)が、とっさに熱源を体から離れた事と、その後、保護者が早急に手当てをしたため。

●このヒヤリ・ハットをなくすためにはどのような対策が考えられますか？

- ・ホットボンド等、高熱のものを扱う際の注意説明の徹底。
- ・利用者には軍手等、保護具をつけさせる。

①発生日時等

平成24年10月 6日 午後 時頃 天候:曇 気温 °C

②発生現場

屋外 具体的な場所:

③事例の種類

自分が負傷しそうになった 参加者が負傷しそうになった 第三者同士で負傷させそうになった

④もし、実際の負傷事故の発生に至っていたとしたら…

軽症のケガですむ 軽症だが医療機関に連れていく 全治3週間以上の重症 死亡につながる

⑤どのようなことが起きそうになったか(あてはまるもの全てにチェック)

- 墜落・転落 転倒 激突 飛来・落下物にぶつかる 崩壊・倒壊(にまきこまれる) 溺れ
- (機器等)巻き込まれ、はさまれ 切り傷・擦り傷 踏み抜き 感電 有害動物と接触
- 有害植物と接触 爆発・破裂 交通事故 ヤケド 凍傷 腰痛 骨折 ねんざ
- 退路の消失、寸断 その他:

⑥同様の事例は、これまでどの程度の頻度で発生しているか

初めて 1年に数度程度 1か月に数度程度 常にある

【原因として考えられること】(あてはまるもの全てにチェック)

- ・心理・体調 状況からくる焦り 注意力の欠如 経験・知識不足 心身の不調
- ・装備・資機材 故障・不具合 誤使用 能力不足 機材がなかった 適切でない服装
- ・活動環境 天候が原因 建物等による視覚不良 狭い 暑い(寒い)
- ・施設管理 施設の点検不足 施設内外の掃除不足 老朽化 構造上の欠陥
- 説明不足 備品のメンテナンス不足
- ・指示 指示の誤り 指示がなかった 指示内容が実施困難であった 連携が不十分
- 報告が不十分 人数不足 その他:

事故寸前回避事例報告書(ヒヤリ・ハットシート)

記入者氏名: □ □□

記入日: 24年12月12日

●ヒヤリ・ハットした時の状況と解説をご記入ください。～誰(何)が・どこで・なにをした・その他～

宿泊されてた大学生が、自宅横にある駐車場から出る際、前にある細い川があることに気付かず、前の車輪が落ちてしまい、車も少し破損した。幸いケガは、ありませんでした。

●なぜ事故にはいたらずに済んだと思いますか？

●このヒヤリ・ハットをなくすためにはどのような対策が考えられますか？

その川には、鉄板を5枚置きました。

①発生日時等

平成24年 6月16日 午後 時頃 天候:曇り 気温 °C

②発生現場

屋外 具体的な場所: 自宅横の駐車場付近の川に落ちた。

③事例の種類

自分が負傷しそうになった 参加者が負傷しそうになった 第三者同士で負傷させそうになった

④もし、実際の負傷事故の発生に至っていたとしたら…

軽症のケガですむ 軽症だが医療機関に連れていく 全治3週間以上の重症 死亡につながる

⑤どのようなことが起きそうになったか(あてはまるもの全てにチェック)

墜落・転落 転倒 激突 飛来・落下物にぶつかる 崩壊・倒壊(にまきこまれる) 溺れ

(機器等)巻き込まれ、はさまれ 切り傷・擦り傷 踏み抜き 感電 有害動物と接触

有害植物と接触 爆発・破裂 交通事故 ヤケド 凍傷 腰痛 骨折 ねんざ

退路の消失、寸断 その他:

⑥同様の事例は、これまでどの程度の頻度で発生しているか

初めて 1年に数度程度 1か月に数度程度 常にある

【原因として考えられること】(あてはまるもの全てにチェック)

・心理・体調 状況からくる焦り 注意力の欠如 経験・知識不足 心身の不調

・装備・資機材 故障・不具合 誤使用 能力不足 機材がなかった 適切でない服装

・活動環境 天候が原因 建物等による視覚不良 狭い 暑い(寒い)

・施設管理 施設の点検不足 施設内外の掃除不足 老朽化 構造上の欠陥

説明不足 備品のメンテナンス不足

・指示 指示の誤り 指示がなかった 指示内容が実施困難であった 連携が不十分

報告が不十分 人数不足 その他:

事故寸前回避事例報告書(ヒヤリ・ハットシート)

記入者氏名: ○○ ○○

記入日: 24年12月14日

●ヒヤリ・ハットした時の状況と解説をご記入ください。～誰(何)が・どこで・なにをした・その他～

モニターツアー(わさび沢体験)の際に、参加者がわさび沢の横の堤防を歩いていた際に、足を滑らせて転倒しそうになった。

●なぜ事故にはいたらずに済んだと思いますか？

事前に注意していたこと。参加者個人のバランス感覚が優れていたこと。

●このヒヤリ・ハットをなくすためにはどのような対策が考えられますか？

堤防に柵を設けるなどの安全対策、滑り止めのついた靴の用意
注意喚起の徹底、滑りやすい時にはツアーそのものの中止

①発生日時等

平成23年10月21日 午前 10時頃 天候:曇り 気温 °C

②発生現場

屋外 具体的な場所: △△県△△市△△△、○○川流域

③事例の種類

自分が負傷しそうになった 参加者が負傷しそうになった 第三者同士で負傷させそうになった

④もし、実際の負傷事故の発生に至っていたとしたら…

軽症のケガですむ 軽症だが医療機関に連れていく 全治3週間以上の重症 死亡につながる

⑤どのようなことが起きそうになったか(あてはまるもの全てにチェック)

墜落・転落 転倒 激突 飛来・落下物にぶつかる 崩壊・倒壊(にまきこまれる) 溺れ

(機器等)巻き込まれ、はさまれ 切り傷・擦り傷 踏み抜き 感電 有害動物と接触

有害植物と接触 爆発・破裂 交通事故 ヤケド 凍傷 腰痛 骨折 ねんざ

退路の消失、寸断 その他:

⑥同様の事例は、これまでどの程度の頻度で発生しているか

初めて 1年に数度程度 1か月に数度程度 常にある

【原因として考えられること】(あてはまるもの全てにチェック)

・心理・体調 状況からくる焦り 注意力の欠如 経験・知識不足 心身の不調

・装備・資機材 故障・不具合 誤使用 能力不足 機材がなかった 適切でない服装

・活動環境 天候が原因 建物等による視覚不良 狭い 暑い(寒い)

・施設管理 施設の点検不足 施設内外の掃除不足 老朽化 構造上の欠陥

説明不足 備品のメンテナンス不足

・指示 指示の誤り 指示がなかった 指示内容が実施困難であった 連携が不十分

報告が不十分 人数不足 その他:

事故寸前回避事例報告書(ヒヤリ・ハットシート)

記入者氏名: ○○ ○○

記入日: H24年12月14日

●ヒヤリ・ハットした時の状況と解説をご記入ください。～誰(何)が・どこで・なにをした・その他～

モニターツアーで参加者に川を徒歩で渡らせる時、数日前の雨の影響か、事前に確認した時よりも水量が多く勢いも激しかった為、流れにさらわれてしまわないか、心配した。

●なぜ事故にはいたらずに済んだと思いますか？

参加者に注意をうながした為。

●このヒヤリ・ハットをなくすためにはどのような対策が考えられますか？

ロープなどの準備・水練の上手な人を同意・中止する。

①発生日時等

平成23年10月21 午前 10時頃 天候:曇り 気温 °C

②発生現場

屋外 具体的な場所: □□川

③事例の種類

自分が負傷しそうになった 参加者が負傷しそうになった 第三者同士で負傷させそうになった

④もし、実際の負傷事故の発生に至っていたとしたら…

軽症のケガですむ 軽症だが医療機関に連れていく 全治3週間以上の重症 死亡につながる

⑤どのようなことが起きそうになったか(あてはまるもの全てにチェック)

墜落・転落 転倒 激突 飛来・落下物にぶつかる 崩壊・倒壊(にまきこまれる) 溺れ

(機器等)巻き込まれ、はさまれ 切り傷・擦り傷 踏み抜き 感電 有害動物と接触

有害植物と接触 爆発・破裂 交通事故 ヤケド 凍傷 腰痛 骨折 ねんざ

退路の消失、寸断 その他:

⑥同様の事例は、これまでどの程度の頻度で発生しているか

初めて 1年に数度程度 1か月に数度程度 常にある

【原因として考えられること】(あてはまるもの全てにチェック)

・心理・体調 状況からくる焦り 注意力の欠如 経験・知識不足 心身の不調

・装備・資機材 故障・不具合 誤使用 能力不足 機材がなかった 適切でない服装

・活動環境 天候が原因 建物等による視覚不良 狭い 暑い(寒い)

・施設管理 施設の点検不足 施設内外の掃除不足 老朽化 構造上の欠陥

説明不足 備品のメンテナンス不足

・指示 指示の誤り 指示がなかった 指示内容が実施困難であった 連携が不十分

報告が不十分 人数不足 その他:

事故寸前回避事例報告書(ヒヤリ・ハットシート)

記入者氏名: ○○ ○

記入日: 24年12月13日

●ヒヤリ・ハットした時の状況と解説をご記入ください。～誰(何)が・どこで・なにをした・その他～

私と職員が、山中で倒木処理作業中に一部の木を取り除いた所、上部から、倒木以外の材が、落下して来て2人の間を通過した。

●なぜ事故にはいたらずに済んだと思いますか？

同僚が先に気づいて私を押して、自分も逃げたので、2人共直撃はまぬがれた。

●このヒヤリ・ハットをなくすためにはどのような対策が考えられますか？

現場の事前チェックと作業内容の打ち合わせ。
危険ヶ所のチェック、退避場所の確認など。

①発生日時等

平成23年 6月 3日 午後 14時頃 天候:曇り 気温 °C

②発生現場

屋外 具体的な場所: 山林やや傾斜地

③事例の種類

自分が負傷しそうになった 参加者が負傷しそうになった 第三者同士で負傷させそうになった

④もし、実際の負傷事故の発生に至っていたとしたら…

軽症のケガですむ 軽症だが医療機関に連れていく 全治3週間以上の重症 死亡につながる

⑤どのようなことが起きそうになったか(あてはまるもの全てにチェック)

墜落・転落 転倒 激突 飛来・落下物にぶつかる 崩壊・倒壊(にまきこまれる) 溺れ

(機器等)巻き込まれ、はさまれ 切り傷・擦り傷 踏み抜き 感電 有害動物と接触

有害植物と接触 爆発・破裂 交通事故 ヤケド 凍傷 腰痛 骨折 ねんざ

退路の消失、寸断 その他:

⑥同様の事例は、これまでどの程度の頻度で発生しているか

初めて 1年に数度程度 1か月に数度程度 常にある

【原因として考えられること】(あてはまるもの全てにチェック)

・心理・体調 状況からくる焦り 注意力の欠如 経験・知識不足 心身の不調

・装備・資機材 故障・不具合 誤使用 能力不足 機材がなかった 適切でない服装

・活動環境 天候が原因 建物等による視覚不良 狭い 暑い(寒い)

・施設管理 施設の点検不足 施設内外の掃除不足 老朽化 構造上の欠陥

説明不足 備品のメンテナンス不足

・指示 指示の誤り 指示がなかった 指示内容が実施困難であった 連携が不十分

報告が不十分 人数不足 その他:

事故寸前回避事例報告書(ヒヤリ・ハットシート)

記入者氏名:〇〇

記入日: 2012年12月15日

●ヒヤリ・ハットした時の状況と解説をご記入ください。～誰(何)が・どこで・なにをした・その他～

畑の斜面をかけあがった子供が、置いてあった鍬につまづいて転倒した。

●なぜ事故にはいたらずに済んだと思いますか？

転倒した所が土の上だったため、大事に至らなかった。

●このヒヤリ・ハットをなくすためにはどのような対策が考えられますか？

鍬などを見えるよう片付けるなど管理を徹底する。

①発生日時等

平成 年 月 日 (午前・午後) 時頃 天候:(晴・曇り・雨・雪) 気温 °C

②発生現場

屋内・屋外 具体的な場所:

③事例の種類

自分が負傷しそうになった 参加者が負傷しそうになった 第三者同士で負傷させそうになった

④もし、実際の負傷事故の発生に至っていたとしたら…

軽症のケガですむ 軽症だが医療機関に連れていく 全治3週間以上の重症 死亡につながる

⑤どのようなことが起きそうになったか(あてはまるもの全てチェック)

墜落・転落 転倒 激突 飛来・落下物にぶつかる 崩壊・倒壊(にまきこまれる) 溺れ

(機器等)巻き込まれ、はさまれ 切り傷・擦り傷 踏み抜き 感電 有害動物と接触

有害植物と接触 爆発・破裂 交通事故 ヤケド 凍傷 腰痛 骨折 ねんざ

退路の消失、寸断 その他:

⑥同様の事例は、これまでどの程度の頻度で発生しているか

初めて 1年に数度程度 1か月に数度程度 常にある

【原因として考えられること】(あてはまるもの全てにチェック)

・心理・体調 状況からくる焦り 注意力の欠如 経験・知識不足 心身の不調

・装備・資機材 故障・不具合 誤使用 能力不足 機材がなかった 適切でない服装

・活動環境 天候が原因 建物等による視覚不良 狭い 暑い(寒い)

・施設管理 施設の点検不足 施設内外の掃除不足 老朽化 構造上の欠陥

説明不足 備品のメンテナンス不足

・指示 指示の誤り 指示がなかった 指示内容が実施困難であった 連携が不十分

報告が不十分 人数不足 その他:

事故寸前回避事例報告書(ヒヤリ・ハットシート)

記入者氏名: ▽▽ ▽▽

記入日: 24年12月10日

●ヒヤリ・ハットした時の状況と解説をご記入ください。～誰(何)が・どこで・なにをした・その他～

干柿作りの為、渋柿ちぎりをした時に、ちぎり落した柿の小枝を切るのに揃提バサミを使わせた。一人は大人用のハサミであったので、子供の手にしては、大き過ぎた為、枝を切ったと同時に薬指の腹をはさみ血豆を作った。保冷剤で冷やし治まった。

●なぜ事故にはいたらずに済んだと思いますか？

●このヒヤリ・ハットをなくすためにはどのような対策が考えられますか？

危険を想定して、事前に研修・指導をする。道具や品物等は受入者に合ったものを用意する。

①発生日時等

平成24年11月17日 午後 時頃 天候:晴 気温 °C

②発生現場

屋外 具体的な場所:

③事例の種類

自分が負傷しそうになった 参加者が負傷しそうになった 第三者同士で負傷させそうになった

④もし、実際の負傷事故の発生に至っていたとしたら…

軽症のケガですむ 軽症だが医療機関に連れていく 全治3週間以上の重症 死亡につながる

⑤どのようなことが起きそうになったか(あてはまるもの全てにチェック)

墜落・転落 転倒 激突 飛来・落下物にぶつかる 崩壊・倒壊(にまきこまれる) 溺れ

(機器等)巻き込まれ、はさまれ 切り傷・擦り傷 踏み抜き 感電 有害動物と接触

有害植物と接触 爆発・破裂 交通事故 ヤケド 凍傷 腰痛 骨折 ねんざ

退路の消失、寸断 その他:

⑥同様の事例は、これまでどの程度の頻度で発生しているか

初めて 1年に数度程度 1か月に数度程度 常にある

【原因として考えられること】(あてはまるもの全てにチェック)

・心理・体調 状況からくる焦り 注意力の欠如 経験・知識不足 心身の不調

・装備・資機材 故障・不具合 誤使用 能力不足 機材がなかった 適切でない服装

・活動環境 天候が原因 建物等による視覚不良 狭い 暑い(寒い)

・施設管理 施設の点検不足 施設内外の掃除不足 老朽化 構造上の欠陥

説明不足 備品のメンテナンス不足

・指示 指示の誤り 指示がなかった 指示内容が実施困難であった 連携が不十分

報告が不十分 人数不足 その他:

事故寸前回避事例報告書(ヒヤリ・ハットシート)

記入者氏名: AA AA

記入日: 24年12月 6日

●ヒヤリ・ハットした時の状況と解説をご記入ください。～誰(何)が・どこで・なにをした・その他～

小学生の農業体験で稲刈を行った際、受入農家が最初に作業の注意点を説明して体験を始めたが、小学生の一人が鎌の取扱いに慣れていなかったため、ケガをしそうな感じがした。

●なぜ事故にはいたらずに済んだと思いますか？

周りにいたスタッフが、鎌の扱い方について注意をした。

●このヒヤリ・ハットをなくすためにはどのような対策が考えられますか？

体験で使う道具について、体験者の中には初めて見る者もいることから、どのように扱わなければいけないのか、どのような危険があるのかを具体的に、また、体験中にも補助説明をする必要がある。

①発生日時等

平成23年10月 日 (午前・午後) 時頃 天候:晴 気温 °C

②発生現場

屋外 具体的な場所: 田畑

③事例の種類

自分が負傷しそうになった 参加者が負傷しそうになった 第三者同士で負傷させそうになった

④もし、実際の負傷事故の発生に至っていたとしたら…

軽症のケガですむ 軽症だが医療機関に連れていく 全治3週間以上の重症 死亡につながる

⑤どのようなことが起きそうになったか(あてはまるもの全てにチェック)

墜落・転落 転倒 激突 飛来・落下物にぶつかる 崩壊・倒壊(にまきこまれる) 溺れ

(機器等)巻き込まれ、はさまれ 切り傷・擦り傷 踏み抜き 感電 有害動物と接触

有害植物と接触 爆発・破裂 交通事故 ヤケド 凍傷 腰痛 骨折 ねんざ

退路の消失、寸断 その他:

⑥同様の事例は、これまでどの程度の頻度で発生しているか

初めて 1年に数度程度 1か月に数度程度 常にある

【原因として考えられること】(あてはまるもの全てにチェック)

・心理・体調 状況からくる焦り 注意力の欠如 経験・知識不足 心身の不調

・装備・資機材 故障・不具合 誤使用 能力不足 機材がなかった 適切でない服装

・活動環境 天候が原因 建物等による視覚不良 狭い 暑い(寒い)

・施設管理 施設の点検不足 施設内外の掃除不足 老朽化 構造上の欠陥

説明不足 備品のメンテナンス不足

・指示 指示の誤り 指示がなかった 指示内容が実施困難であった 連携が不十分

報告が不十分 人数不足 その他:

事故寸前回避事例報告書(ヒヤリ・ハットシート)

記入者氏名:

記入日: 24年12月 8日

●ヒヤリ・ハットした時の状況と解説をご記入ください。～誰(何)が・どこで・なにをした・その他～

キャニオニング(沢下り)のツアー中、滝をロープで降下する際、まず、ロープと自分を繋いでから、降下スタート地点まで数メートル移動する。その移動の間も、足を滑べらせれば、約20m墜落することとなる。事前説明がするが、理解不足、あわてるお客さんが、まれに、ロープと自分を繋がずに、横移動してくる。

●なぜ事故にはいたらずに済んだと思いますか？

途中で気付いて指示して、ロープ確保をしてもらった。

●このヒヤリ・ハットをなくすためにはどのような対策が考えられますか？

指示の徹底…？
リーダーを決めてチェックしてもらおう。

①発生日時等

平成24年 8月18日 午後 2時頃 天候:晴 気温 °C

②発生現場

屋外 具体的な場所: ○○市△△区□□町 溪谷

③事例の種類

自分が負傷しそうになった 参加者が負傷しそうになった 第三者同士で負傷させそうになった

④もし、実際の負傷事故の発生に至っていたとしたら…

軽症のケガですむ 軽症だが医療機関に連れていく 全治3週間以上の重症 死亡につながる

⑤どのようなことが起きそうになったか(あてはまるもの全てにチェック)

墜落・転落 転倒 激突 飛来・落下物にぶつかる 崩壊・倒壊(にまきこまれる) 溺れ
 (機器等)巻き込まれ、はさまれ 切り傷・擦り傷 踏み抜き 感電 有害動物と接触
有害植物と接触 爆発・破裂 交通事故 ヤケド 凍傷 腰痛 骨折 ねんざ
退路の消失、寸断 その他:

⑥同様の事例は、これまでどの程度の頻度で発生しているか

初めて 1年に数度程度 1か月に数度程度 常にある

【原因として考えられること】(あてはまるもの全てにチェック)

・心理・体調 状況からくる焦り 注意力の欠如 経験・知識不足 心身の不調
・装備・資機材 故障・不具合 誤使用 能力不足 機材がなかった 適切でない服装
・活動環境 天候が原因 建物等による視覚不良 狭い 暑い(寒い)
・施設管理 施設の点検不足 施設内外の掃除不足 老朽化 構造上の欠陥
説明不足 備品のメンテナンス不足
・指示 指示の誤り 指示がなかった 指示内容が実施困難であった 連携が不十分
報告が不十分 人数不足 その他:

事故寸前回避事例報告書(ヒヤリ・ハットシート)

記入者氏名:

記入日: H24年12月12日

●ヒヤリ・ハットした時の状況と解説をご記入ください。～誰(何)が・どこで・なにをした・その他～

小学4年生が、班ごとに分かれて、ウォークラリーの活動で山に入ったが、その内ある班が、コースを間違えていることがわかった。その内に天候が荒天し、激しい雨と雷が鳴り始めたため、職員総出になって、捜索および救助活動を行った。

●なぜ事故にはいたらずに済んだと思いますか？

学校やPTAの協力により、早期に生徒の確保と安全な場所への避難誘導することができた。

●このヒヤリ・ハットをなくすためにはどのような対策が考えられますか？

天候不順の時は、安全で短いコースに変更する勇気も必要である。また、道を誤りそうなポイントには、誘導者の配置をする必要もある。

①発生日時等

平成24年 5月29日 午後 3時頃 天候:雨 気温 °C

②発生現場

屋内・屋外 具体的な場所: ○○山 山中

③事例の種類

自分が負傷しそうになった 参加者が負傷しそうになった 第三者同士で負傷させそうになった

④もし、実際の負傷事故の発生に至っていたとしたら…

軽症のケガですむ 軽症だが医療機関に連れていく 全治3週間以上の重症 死亡につながる

⑤どのようなことが起きそうになったか(あてはまるもの全てにチェック)

墜落・転落 転倒 激突 飛来・落下物にぶつかる 崩壊・倒壊(にまきこまれる) 溺れ

(機器等)巻き込まれ、はさまれ 切り傷・擦り傷 踏み抜き 感電 有害動物と接触

有害植物と接触 爆発・破裂 交通事故 ヤケド 凍傷 腰痛 骨折 ねんざ

退路の消失、寸断 その他:

⑥同様の事例は、これまでどの程度の頻度で発生しているか

初めて 1年に数度程度 1か月に数度程度 常にある

【原因として考えられること】(あてはまるもの全てにチェック)

・心理・体調 状況からくる焦り 注意力の欠如 経験・知識不足 心身の不調

・装備・資機材 故障・不具合 誤使用 能力不足 機材がなかった 適切でない服装

・活動環境 天候が原因 建物等による視覚不良 狭い 暑い(寒い)

・施設管理 施設の点検不足 施設内外の掃除不足 老朽化 構造上の欠陥

説明不足 備品のメンテナンス不足

・指示 指示の誤り 指示がなかった 指示内容が実施困難であった 連携が不十分

報告が不十分 人数不足 その他:

事故寸前回避事例報告書(ヒヤリ・ハットシート)

記入者氏名: ○○ ○

記入日: H24年12月11日

●ヒヤリ・ハットした時の状況と解説をご記入ください。～誰(何)が・どこで・なにをした・その他～

子どもの自然体験活動(小4～6年生50人)が淡路島でキャンプファイヤーをしていて、終って宿泊施設に帰る際に、人数確認を行ったら、1人居なくなっていた。
すぐに他の子どもは部屋に戻し、スタッフ、ボランティアで搜索したところ、一足早く宿舎に帰っていた。

●なぜ事故にはいたらずに済んだと思いますか？

キャンプファイヤー前・後、移動したときには必ず人数確認を行っていたため、早く発見でき、すぐに対応できたから。

●このヒヤリ・ハットをなくすためにはどのような対策が考えられますか？

- ・子どもたちに勝手な行動をさせないよう徹底する。
- ・班長の人数確認をこまめにするようにする。
- ・スタッフ・ボランティア(班■)の人数確認。

①発生日時等

平成21年 7月31日 午後 9時頃 天候:晴 気温 °C

②発生現場

屋外 具体的な場所: ○○島青年の家 施設内海岸

③事例の種類

自分が負傷しそうになった 参加者が負傷しそうになった 第三者同士で負傷させそうになった

④もし、実際の負傷事故の発生に至っていたとしたら…

軽症のケガですむ 軽症だが医療機関に連れていく 全治3週間以上の重症 死亡につながる

⑤どのようなことが起きそうになったか(あてはまるもの全てにチェック)

- 墜落・転落 転倒 激突 飛来・落下物にぶつかる 崩壊・倒壊(にまきこまれる) 溺れ
- (機器等)巻き込まれ、はさまれ 切り傷・擦り傷 踏み抜き 感電 有害動物と接触
- 有害植物と接触 爆発・破裂 交通事故 ヤケド 凍傷 腰痛 骨折 ねんざ
- 退路の消失、寸断 その他:

⑥同様の事例は、これまでどの程度の頻度で発生しているか

初めて 1年に数度程度 1か月に数度程度 常にある

【原因として考えられること】(あてはまるもの全てにチェック)

- ・心理・体調 状況からくる焦り 注意力の欠如 経験・知識不足 心身の不調
- ・装備・資機材 故障・不具合 誤使用 能力不足 機材がなかった 適切でない服装
- ・活動環境 天候が原因 建物等による視覚不良 狭い 暑い(寒い)
- ・施設管理 施設の点検不足 施設内外の掃除不足 老朽化 構造上の欠陥
- 説明不足 備品のメンテナンス不足
- ・指示 指示の誤り 指示がなかった 指示内容が実施困難であった 連携が不十分
- 報告が不十分 人数不足 その他:

事故寸前回避事例報告書(ヒヤリ・ハットシート)

記入者氏名: BB BB

記入日: 24年12月11日

●ヒヤリ・ハットした時の状況と解説をご記入ください。～誰(何)が・どこで・なにをした・その他～

11月下旬、中学2年男子5人が農業の職業体験として2泊3日で来ました。最終昼食後、2人が体調不良で、もどしたりしました。
ストーブで温めたり、横になったりして休みましたが、約2時間ゆっくりしました。帰宅後、病院に行ったらしいですが、神経性胃炎とのことでした。

●なぜ事故にはいたらずに済んだと思いますか？

ゆっくり休む時間があつた。

●このヒヤリ・ハットをなくすためにはどのような対策が考えられますか？

生徒とのコミュニケーションを増やす。
体調確認をこまめに行なう。

①発生日時等

平成24年11月29日 午後 1時頃 天候:曇り 気温 6℃

②発生現場

屋外 具体的な場所: ビニールハウスの中 屋外

③事例の種類

自分が負傷しそうになった 参加者が負傷しそうになった 第三者同士で負傷させそうになった

④もし、実際の負傷事故の発生に至っていたとしたら…

軽症のケガですむ 軽症だが医療機関に連れていく 全治3週間以上の重症 死亡につながる

⑤どのようなことが起きそうになったか(あてはまるもの全てチェック)

墜落・転落 転倒 激突 飛来・落下物にぶつかる 崩壊・倒壊(にまきこまれる) 溺れ
 (機器等)巻き込まれ、はさまれ 切り傷・擦り傷 踏み抜き 感電 有害動物と接触
有害植物と接触 爆発・破裂 交通事故 ヤケド 凍傷 腰痛 骨折 ねんざ
退路の消失、寸断 その他:

⑥同様の事例は、これまでどの程度の頻度で発生しているか

初めて 1年に数度程度 1か月に数度程度 常にある

【原因として考えられること】(あてはまるもの全てにチェック)

・心理・体調 状況からくる焦り 注意力の欠如 経験・知識不足 心身の不調
・装備・資機材 故障・不具合 誤使用 能力不足 機材がなかった 適切でない服装
・活動環境 天候が原因 建物等による視覚不良 狭い 暑い(寒い)
・施設管理 施設の点検不足 施設内外の掃除不足 老朽化 構造上の欠陥
説明不足 備品のメンテナンス不足
・指示 指示の誤り 指示がなかった 指示内容が実施困難であった 連携が不十分
報告が不十分 人数不足 その他:

事故寸前回避事例報告書(ヒヤリ・ハットシート)

記入者氏名:

記入日: 2012年11月29日

●ヒヤリ・ハットした時の状況と解説をご記入ください。～誰(何)が・どこで・なにをした・その他～

子供たちの夏長期キャンプ中の海プログラム実施時に、小2の男の子を溺れさせてしまいそうになった。当日、自分は、海水浴班を担当していて、その男の子も同班であった。その日、高波なったため、短い時間で切り上げ、子供たちを荷物が置いてある集合場所へ戻るよう指示。その後、私は、他の班の子たちの対応にまわっていた。そちらの班もプログラムを終え、みんなの待つ集合場所へ戻ったところ、当■■の男の子の姿がなく、急いで探しに行ったところ、海水浴を実施していた場所で、1人ぶかぶかと浮いているのを発見。かなり、ヒヤリとした事柄でした。

●なぜ事故にはいたらずに済んだと思いますか？

子供たちに、ライフジャケットを身につけさせていたこと。
また、発見が比較的、早かったこと。

●このヒヤリ・ハットをなくすためにはどのような対策が考えられますか？

当事者の子は、キャンプ初日から、要注意人物だとは、把握していた。そういう子に対しては、常にスタッフの隣に
いさせる位に目を離さずに対応するべきだった。(言葉で、指示しても、中々、理解できない子供だったため。)

①発生日時等

平成24年 8月 日 午後 時頃 天候:晴 気温 °C

②発生現場

屋外 具体的な場所: □□島の磯

③事例の種類

自分が負傷しそうになった 参加者が負傷しそうになった 第三者同士で負傷させそうになった

④もし、実際の負傷事故の発生に至っていたとしたら…

軽症のケガですむ 軽症だが医療機関に連れていく 全治3週間以上の重症 死亡につながる

⑤どのようなことが起きそうになったか(あてはまるもの全てにチェック)

墜落・転落 転倒 激突 飛来・落下物にぶつかる 崩壊・倒壊(にまきこまれる) 溺れ
 (機器等)巻き込まれ、はさまれ 切り傷・擦り傷 踏み抜き 感電 有害動物と接触
有害植物と接触 爆発・破裂 交通事故 ヤケド 凍傷 腰痛 骨折 ねんざ
退路の消失、寸断 その他:

⑥同様の事例は、これまでどの程度の頻度で発生しているか

初めて 1年に数度程度 1か月に数度程度 常にある

【原因として考えられること】(あてはまるもの全てにチェック)

- ・心理・体調 状況からくる焦り 注意力の欠如 経験・知識不足 心身の不調
- ・装備・資機材 故障・不具合 誤使用 能力不足 機材がなかった 適切でない服装
- ・活動環境 天候が原因 建物等による視覚不良 狭い 暑い(寒い)
- ・施設管理 施設の点検不足 施設内外の掃除不足 老朽化 構造上の欠陥
説明不足 備品のメンテナンス不足
- ・指示 指示の誤り 指示がなかった 指示内容が実施困難であった 連携が不十分
報告が不十分 人数不足 その他: